フルチアニル・メパニピリム水和剤 **ショウチノスケフロアブル**

取扱メーカー: O A T

原体メーカー: 〇AT. クミカ

性状:類白色水和性粘稠懸濁液体

毒性:普通物 消防法:——

● 2成分の混合により各作物のうどんこ病に対して高い効果を示す。

- ●フルチアニルの作用により予防効果に優れ、また病斑拡大抑制作用、分生子形成及び分生子遊離阻害作用により二次感染(病気の拡大)を遮断する。
- ●メパニピリムの作用により発芽管の伸長や付着 器の形成を阻害する。
- ●既存剤に感受性の低下したうどんこ病菌に対しても安定した効果を発揮する。また作用点の異なる成分を含有することにより、薬剤耐性うどんこ病菌発達のリスクを抑える。
- ●残効性に優れることから、1シーズン中のうどんこ病防除回数の低減が期待できる。
- ●優れた浸達性を有し、葉の表裏の病害を防除する。
- ●有用生物や天敵に対する影響が小さく, IPM 体系 (総合的病害虫管理) に有用な資材として使 用できる。

● 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一 覧表」を参照。

【使用上のポイント】…………

●うどんこ病防除,灰色かび病防除には,ローテーション剤に加える。

【薬効・薬害等の注意】 …………

●植物体への浸透移行性がないので、かけ残しの ないように葉の裏表に十分散布する。

【安全対策上の注意】 ……………

●皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着 しないように注意する。付着した場合には直ちに 石けんでよく洗い落とす。



【適用と使用法】……

作物名	適用病害名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	フルチアニルを含む 農薬の総使用回数	メパニピリムを含む 農薬の総使用回数
きゅうり	うどんこ病 灰色かび病		100~	収穫前日まで				
メ ロ ンかぼちゃか か が か	うどんこ病							4回以内
な す ト マ ト ミニトマト	うどんこ病 灰色かび病	2000 倍	300 ℓ		2回以内	散布	2回以内	
いちご								3回以内
花き類・観葉植物 樹 木 類	うどんこ病		200 ∼ 700 ℓ	発病前~ 発病初期				5回以内